

TOPICS

「畳の日フェスタ」が大盛況
山梨県畠同業組合連合会

山交百貨店で開催された「畠の日フェスタ」は、多くの子供たちと組合員が参加して、畠クッションの製作や抹茶サービスなど、様々な体験イベントを行った。企画は大成功だったが、畠の良さを十分にPRすることができなかった。しかし、日本の生活環境が変化する中で畠を使う日本人の数が減りつつあるが、畠文化を守るためにも、畠の日フェスタを継続していくたい。」



特設和室での抹茶サービス

子供たちの体験イベントでは畠職人である組合員がサポートし、子供たちが自分で絵を描き彩色したオリジナルの縁を使った畠クッションの製作、10～15cm程度のミニ畠の製作などを行った。畠クッションの製作は若手組合員からのアイデアを取り入れて今回初めて実施、ミニ畠製作は待ち時間ができるほどの人気であった。同時に、付き添いの大人たちには真新しいイ草の香りが高い特設の和室で抹茶をサービスするなど、「子供たちにものづくりの楽しさを体験してもらいたいながら、大人には畠の良さを再認識してもらいたい」といった趣向を凝らした企画となり、子供からも大人からも大好評であった。

権正理事長は「畠クッションや抹茶サービスといった新企画もあり事前準備は大変だったが、畠の良さを十分にPRすることができた。畠は日本特有の夏の高温多湿と冬の乾燥寒冷という風土の中から生まれた湿度調節機能を持つた世界中で日本にしかない建材でもあり日本人の生活環境が変化する中で畠を使つた部屋は減りつつあるが、畠文化を守るためにも、畠の日フェスタを継続していくたい。」



畠クッションの製作に取り組む子供たちと組合員

山梨県畠同業組合連合会（権正高夫理事長10組合74名）では、4月29日の緑の日にあわせて畠の良さを県民にPRする事業として「畠の日フェスタ」を甲府市で開催した。

当日のイベントは組合の役員を中心に組合員22名が協力し、JR甲府駅南口で香りの良いイ草と組合パンフレットを通行者に配布しながら隣の山交百貨店で行う体験イベントを案内、山交百貨店催事場には子供90人を含む親子連れ200名以上が集まりました。

ACTIVE KUMIAI

畠の日フェスタが大盛況